
基本目標Ⅲ 男女自立の条件整備

少子・高齢化が進む現代の社会では、生活の安定と心の豊かさを求められています。女性も男性も精神的、経済的な面を含め必ずしも自立ができているとはいえません。

また、核家族化など家庭環境の変化により人間関係や地域社会との連携が薄れるとともに、家庭においても家事や育児といった家庭機能にも変化が生じています。

今後の家庭生活においては、特定の家族に負担がかからないように、家族が共に協力し家庭責任を果たす事が求められています。

そのため、高齢者や障がいのある人やひとり親家庭など支援を必要とする男女への自立を促すための環境の整備に取り組みます。

重点目標 1 家庭的責任を果たすための環境整備

誰もが安心して、生き生きと暮らすためには、精神的に自立することが必要です。

また、高齢者や障がいのある人の自立は、家庭や地域の問題として大変重要なこととなります。そのため、高齢者や障がいのある人が地域活動や社会に参画できる環境の整備を図ると共に援助の必要な男女へ自立の支援を行います。

【 課 題 】

(1) 援助を必要とする男女への自立支援

生活弱者に対する生活の安定を図り、自立を促進します。

■ 施 策 の 方 向

①高齢者の生活の安定と社会参加の促進

○生活の安定を図る環境や体制の整備

○高齢者健康対策の充実

○社会参加のできる環境の整備

○居住環境整備の支援



◆ ゴールドプラン21

平成12年度から16年度までの5か年の高齢者保健福祉施策の方向を示したものであり、平成11年12月に大蔵（財務）・厚生（厚生労働）・自治（総務）の3大臣によって合意されました。この計画では、①活力ある高齢者像の構築、②高齢者の尊厳の確保と自立支援、③支え合う地域社会の形成、④利用者から信頼される介護サービスの確立を基本的な目標として掲げ、介護サービス基盤の質・量両面にわたる整備を進めるとともに、高齢者ができる限り寝たきりにならず、自立した生活を送ることができるよう支援しています。

◆ 高齢化社会

国際連合の定義では、65歳以上の高齢人口比率が7%以上の社会を「高齢化社会」、同比率が14%以上を「高齢社会」と呼ぶ。
(後期高齢化率 総人口に占める75歳以上の割合)

▼別府市の高齢人口の実態 (単位：人、%)

(別府市統計書より)

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
総人口	134,754	130,334	128,255	126,523
65歳以上	17,420	20,441	24,547	28,556
75歳以上	6,802	8,123	9,627	12,167
高齢化率	12.9	15.7	19.1	22.6
後期高齢化率	5.0	6.2	7.5	9.6

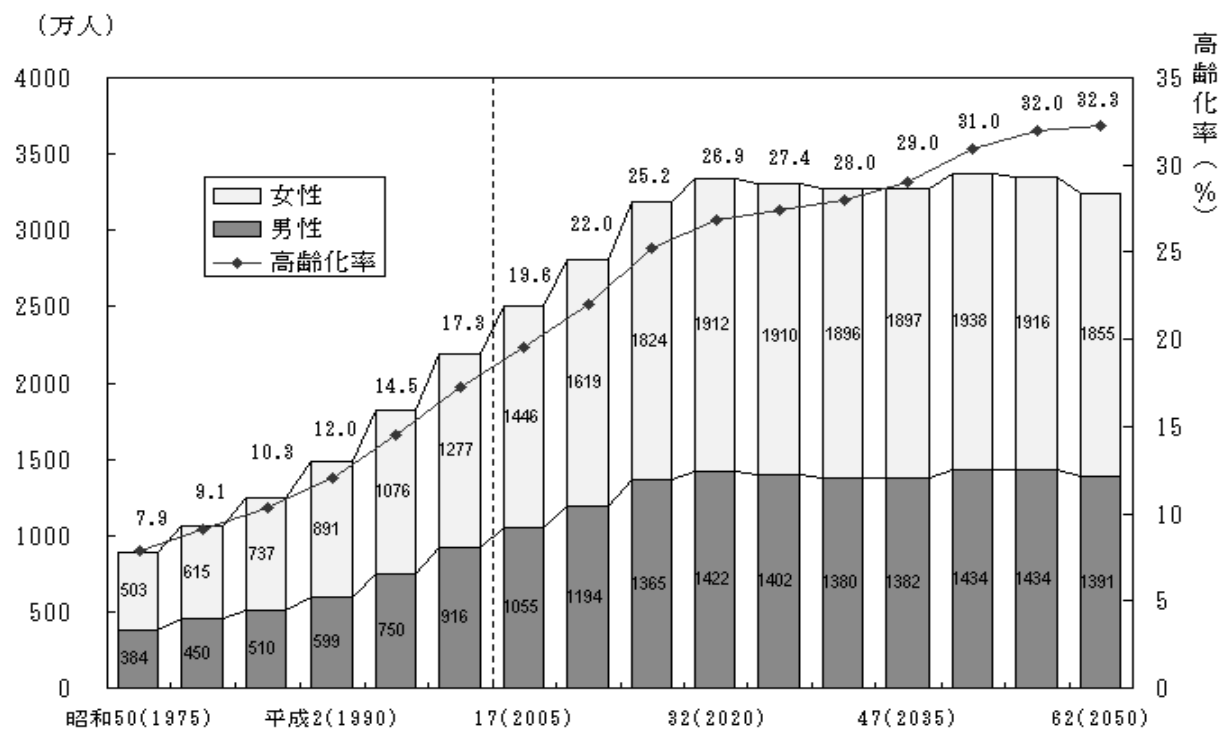
▼現在最も生きがいを感じること（複数選択）（単位：％）

（別府市高齢者一般調査より）

	割合
趣味の活動	51.1
働くこと	45.0
学習や教養を高めるための活動	25.3
スポーツ	24.9
老人クラブ活動	16.4
町内会、自治会の活動	12.1
ボランティア活動	9.9
その他	8.8



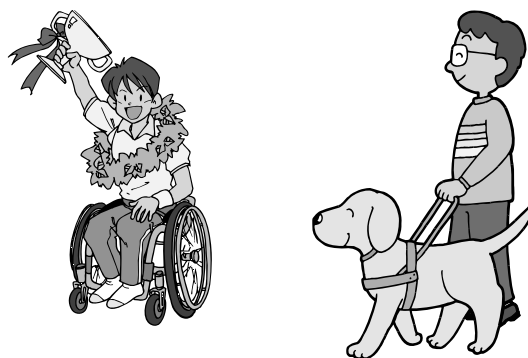
▼65歳以上の高齢者人口及び高齢化率の推移



資料出所：1995年までは総務省「国勢調査」，2000年は総務省「人口推計月報」，2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成9年1月推計）による各年10月1日現在の推計人口（中位推計）

②障がい者の生活の安定と社会参加の促進

- 生活の安定を図る環境や体制の整備
- 社会参加のできる環境の整備
- 在宅福祉サービスの充実
- 居住環境整備の支援



▼別府市身体障害者手帳・知的障害者手帳所持者数（単位：人）（4月1日現在）

	平成7年	平成12年
身体障害者手帳所持者	5,880	6,205
知的障害者手帳所持者	491	543

③ひとり親家庭への自立支援

- 助成制度の情報提供と制度の充実
- 相談支援体制の充実
- 居住環境整備の支援



▼別府市の家族類型別世帯数（単位：世帯、人）（別府市統計書より）

	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年
世帯総数 （家族類型別）	48,637	49,526	51,274	52,877
男親と子供	476	504	510	511
女親と子供	3,481	3,599	3,812	4,089